

# にじのこ めーる

**季刊誌 VOL. 74**  
2016年1月  
特定非営利活動法人にじのこ  
理事長 松平 みえ  
〒157-0062 東京都世田谷区南青山 6-3-9  
ミールズキ 603  
Tel:03-5314-2488 Fax:03-5314-2544  
URL : http://nijinoko.jp  
e-mail : mail@nijinoko.jp

**INDEX**

**巻頭言**  
「皇帝ダリアの  
ように」  
理事長 松平 みえ

**職員合同研修**  
「普通I講習  
- 救命講習」  
浦井 みどり

**「防災」**  
北澤 直子

**職員研修記録より**  
・連合運動会  
・青光フェスタ  
・中核人材養成研修  
・発達障害について

**にじのこ  
サポーターズ**

「子ども達の  
笑顔に包まれながら」  
濱村恵美奈

● にじのこの動き  
● THANKS

平成27年の師走は暖かい。我が家の庭の皇帝ダリアもつい最近まで花を咲かせていた。秋の台風時に折れたが、その後、枝が伸び、花を咲かせた。そしてつい最近の大風に折れて隣の車にのしかかっていたのでばつさり切り落とした。根は逞しく根まで掘り起こさない限り翌年枝を伸ばしてくる。雨風に耐えたとしても冬の霜にすぐやられ、花を咲かせないうちに11月中にしも上げてしまった年もあった。冬の青空に淡いピンク色の花。皇帝ダリアの由来は樹木に劣らぬ幹をびんと伸ばし威風堂々とした姿からの命名だそうである。今年はその名前にふさわしかった。

庭の手入れもすみ、障害者週間には鳥山地域障害者センターが催したアート体験や他の会議やシンポジウムがあり、つい先日は世田谷区自立支援協議会シンポジウムに参加。来春に

## 「皇帝ダリアのめぐり」

施行される障害者差別解消法とのかみのあるシンポジウムである。27年1月に行われたシンポジウムでも、鳥山エリア協議会で行ったシンポジウムも鳥山精神障害者地域生活支援協議会でも、当事者が自分の置かれた今の状況を伝える言葉は重い。今回のシンポジウムの講演者 玉木幸則氏（障害者総合支援センターにのみや）の話の中で差別的な発言をされたらむきにならず、同様なことを相手に求め相手に考えさせることが大切と私は聞き取った。その話を聞いて50年近く前に出会った脳性麻痺の知人を思い出す。

彼女とは今は年賀状のやり取りのみでお互いに元気がどうかを確認する関係である。平成27年の年賀状では元気だった。彼女とは学生時代に社会福祉協議会に連絡して障害者の団体を紹介してもらった会の代表の方

である。出会った頃は弟家族と住んでいた。それから結婚をし、15年後にパートナーを病で失い、今は一人暮らしをしている。一度横になったら一人で起き上がりや寝返りはできない。子供の時から排泄をコントロールし、周りに気遣いしつつ、大変な苦勞をしているが、その大変さを感じさせず相談ができる存在だった。用事を頼む時には自分からさうとSOSを出し、頼まれたほうは自然に手伝うという関係。彼女の逞しさやたおやかさの根っこは何か？また、話したいものと思った。

今回のシンポジウムは当事者の意見や思いを聞く機会であったが、残念なことに関係者の参加がほとんどであり、どれだけ、彼らの言葉が世田谷区民に届くのがこれからの課題である。そしてその努力を続けていくことにより、いわゆる大きな華麗な花は咲かせられなくとも、打ちのめされてもどっこいおいらは生きていくのさ年末に思う。にじのこはこの1年いろいろなことがあり、怒涛の日々だった。職員と利用者さんとご家族、支援していただいた各機関・関係者・地域の方々に感謝しつつ28年も宜しくお願います。

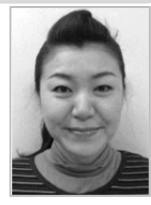
(松平)

## にじのこサポーターズ第41回

ボランティアさんからスタッフまでにじのこを支えて下さっている方々を紹介していきます

## 「子ども達の笑顔に包まれながら」

濱村 恵美奈



### PROFILE

幼児グループと給田学童グループの職員として週2日勤務されています。幼児グループを卒業して学童グループで再会した子ども達はアッ！と驚きそしてニコリ。幼児さんには優しく、そして学童さんには時に厳しく、やさしい濱村さんの笑顔がみんな大好きです。余談ですが、濱村さんはバイオリン修理の職人さんでもあります。幼児グループのシンクの上の木製カバーは濱村さんのお手製です。なんとも滑らかで美しい仕上がり。濱村さんをもっと知りたい方は、ぜひ一度カバーを撫でて来てください。

「せんせー！あそぼー！」と明るく誘ってくる子ども達。その純粋な笑顔こどれ程助けられた事でしょうか、、、。それまで両親の介護に追われ、心身共に疲れ果て笑顔を失いつつあった私の目に飛び込んで来たのは「にじのこ」のポスターでした。「私に何かできる事はあるだろうか、、、でも、、、」とポスターを見つめては何日も悩み、そして勇気を振り絞ってドアを叩いた日の事をよく覚えています。あれから数年が経ちました。今ではあの頃の辛かった記憶は子ども達の笑顔で癒され、日々反省する事も多い中、皆様のお心やさしいお気遣いで「にじのこ」の一員になれた様に感

じます。子ども達と一緒に笑ったり泣いたり、苦手な歌でさえ大声で熱唱したりとそれまでの私とはまるで違う自身を發揮して、改めて子ども達の無垢な才能に驚かされています。これからも保護者の子どもへの思い、職員の方々の子どもの関わり方をより一層学ばせて頂きたいと考えています。そして子ども達の笑顔に包まれながら成長を見守りたいと思います。これからもよろしくお願致します。



## にじのこの動き

- 10月
- 1(木) 合同職員会議 事業等検討会
  - 2(金) 田園調布特別支援学校公開見学
  - 3(土) 部門間相互研修
  - 5(月) デイ職員会議
  - 6(火) キャリアパス中堅後期職員研修参加
  - 7(水) キャリアパス中堅後期職員研修参加
  - 8(木) 東京都相談支援従事者研修参加  
デイ赤堤避難訓練
  - 9(金) 連合運動会見学
  - 10(土) デイ赤堤音楽療法
  - 13(火) 防火・防災管理新規講習参加  
自立支援協議会マニュアルプロジェクト出席
  - 14(水) 防火・防災管理新規講習参加  
指定特定相談支援事業所連絡会出席  
絵と文字のアート体験2015実行委員会
  - 15(木) 介護内部研修 芦花小学校公開
  - 16(金) 芦花小学校公開 部門間相互研修  
デイ給田お話し会
  - 17(土) そとでる講師
  - 20(火) 鳥山指定特定相談支援事業所連絡会出席  
鳥山地域社協のつどい出席
  - 21(水) 鳥山地域精神障害者生活支援  
連絡協議会出席
  - 22(木) 部門間相互研修 バザー委員会  
障害者虐待防止法講演会参加
  - 23(金) デイ給田明治大学実習生受入  
松沢小学校開 武蔵丘小学校公開
  - 25(日) 発達協会研修参加
  - 26(月) 介護ヘルパー会
  - 27(火) 部門間相互研修
  - 28(水) 幼児G園外学習
  - 29(木) 部門間相互研修 管理者主任会議  
地域における障害者理解と  
地域活動事例報告会出席
- 11月
- 2(月) 絵と文字のアート体験2015実行委員会
  - 5(木) 合同職員会議 事業等検討会
  - 6(金) にじのこバザー
  - 7(土) にじのこバザー
  - 9(月) 絵と文字のアート体験2015実行委員会
  - 10(火) バザー委員会 幼児保護者給田見学会
  - 11(水) デイ職員会議
  - 12(木) 理事会 にじのこ「防災」研修会開催
  - 13(金) 北沢地区自立支援協議会出席  
鳥山コミュニティまつり報告会出席
  - 14(土) 子ども虐待防止推進フォーラム参加
  - 16(月) 幼児G音楽療法
  - 18(水) 鳥山エリア自立支援協議会出席  
監督官の視点で見る  
労務管理のポイント研修参加
  - 19(木) 年末調整説明会参加  
介護職員会議 居宅ネット世話人会
  - 20(金) デイ給田お話し会
  - 21(土) 久我山青光学園フェスタ見学
  - 22(日) 発達障害についての  
医療従事者向け講習会参加  
発達障害とひきこもり研修参加
  - 24(火) 部門間相互研修  
自立支援協議会シンポジウム出席  
自立支援協議会マニュアルプロジェクト出席
  - 25(水) ストレスチェック制度の施行直前講座参加  
指定障害児通所支援事業連絡会  
管理監督者会議 介護内部研修  
部門間相互研修
- 12月
- 3(木) 合同職員会議
  - 4(金) デイ給田明治大学実習生受入
  - 5(土) トレフル
  - 6(日) 介護実技講習参加
  - 7(月) デイ職員会議 幼児G避難訓練  
デイ給田職員会議
  - 8(火) 部門間相互研修  
キャリアマナーリーダー研修参加  
虐待防止研修参加
  - 9(水) キャリアマナーリーダー研修参加
  - 10(木) 幼児G音楽療法
  - 13(日) 介護実技講習参加
  - 14(月) デイ赤堤避難訓練  
虐待防止研修参加
  - 16(水) めばえ学園実地研修参加
  - 17(木) デイ赤堤福祉処理研修  
介護職員会議 管理監督者会議
  - 18(金) デイ給田お話し会  
鳥山自立支援協議会出席  
鳥山自立支援協議会シンポジウム参加
  - 19(土) デイ赤堤音楽療法
  - 20(日) 介護実技講習参加
  - 24(木) 管理者主任会議  
12/29~1/3まで休業
- 27(金) デイ給田明治大学実習生受入  
絵と文字のアート体験準備
- 28(土) デイ赤堤音楽療法
- 29(日) 絵と文字のアート体験
- 20(金) 部門間相互研修  
デイ給田・デイ赤堤避難訓練
- 31(土) 笑顔せたがや鳥山コミュニティまつり出店



### THANKS

- ご寄附 匿名の方より
- 賛助会員 藤田君代様 木林滋和様
- ボランティア お話し泉の皆さん  
滝澤様 谷口様

# 職員合同研修報告

事務局 涌井 みどり

今年度最初のじのこ研修会「普通救命講習」が9月7日(月) 成城消防署烏山出張所で行われました。今回は会場の定員の都合で「初めて受講する人」  
 《前回の受講から2年以上経過している人》を優先に研修を行い、18名の参加がありました。  
 受講者の声を紹介いたします。



◆今後に立って思ったこと  
 ・AEDを使う意味が理解できた。  
 ・練習したこと一度胸がつき、仕事上だけでなく災害時の備えにもなる。  
 ・水に濡れた場合など、今までと違う状況もやれたこと。  
 ・いざという時の心構えとしての自信になった。



### ◆今回の研修の感想

◆どうしても忘れてしまう内容もあるので、定期的に受講する必要がある。  
 ・毎年受けるたびに再確認できて良かった。  
 ・一人に一人ずつ指導者がついてくださり、姿勢、位置などの確にアドバイスしてくれて手応えがあった。  
 ・覚えているはず！の過信と反対に頭の中が真白になった。  
 ・忘れていたこと、覚えていたこと、共に確認できた。  
 ◆現実に実践することがないのが一番ですが、いざという時に備えて今後も毎年継続して受講します。  
 また何年も受けている人は上級救命講習の受講も検討したいと考えています。

## 研修報告 「防 災」 ヘルパーステーションにじのこ 北澤 直子

平成27年度第2回の研修を11月12日(木) 19～21時、烏山区民センターで行いました。NPO法人日本防災士会 世田谷支部 理事の菊池頭太郎氏を講師にお招きして「**白から始める防災対策**」をテーマにお話しいただきました。職員・ヘルパーを併せて32名の出席がありました。東日本大震災から時が経ち、恐怖心も薄れがちになり、防災備品も日々準備しなくては、と思いつつ月日は流れ…。

### ◆参加者の感想

・防災用品をすぐに買いに行こうと思つた。とてもおもしろかった。実際に地震が起きたらどうなるのかと想像力が豊かになった。  
 ・間違つた知識がたくさんあり、考え直した。トイレや防寒が大切だとわかった。とにかく備えがないことがよくわかった。ちまたで言われているより実際にはもっと大変になることも。

◆普段忘れがちな防災への意識を思い出しました。定期的にあるとよい研修だと思えます。  
 ・被災地には窃盗団が集まる。性暴力が発生するなど報道されない方が多いということを知り、驚いた。車の中にも防災用品を備えておくことの必要性も学んだ。  
 ・行政が何かをしてくれるとか避難所に行けば大丈夫なのではなく、自分の身は自分で守ることが大切。地震は近いうちに必ず起こる。その時どんなことが起きるのか、どんなものが必要になるのか具体的にグッズを紹介していただけたのが良かった。自分で備えることを少しずつでも始めていきたい。  
 ・東日本大震災の時の話を聞き、避難所で性暴力や盗難、トリアージのことなどメディアを通じてはあまり知れないことを考えるきっかけになった。  
 以上が感想です。  
 怖さを感じるものが備えにつながるのではないかと思います。今後の研修の中でも繰り返し取りあげ、知識や備えを充実していきたいと思っております。

## ■「発達障害について」 幼児グループにじのこ 福島 和美

11/22(日)に飯田橋にある研究社英語センターにて【発達障害を背景とするひきこもりケースの理解と支援】、【発達障害と理解啓発】という題材の研修に参加しました。発達障害を見逃されてきてしまい、ひきこもりになるケースについては、何か大変なのか、細かく聞くこと、表情を見ながら理解しているかどうか確認しながら伝えることが必要であり、徐々に成功体験を重ねることは有効だが、「急ぎ過ぎと無理強い」は厳禁であるとのことでした。  
 発達障害の理解啓発については、当事者に関わる私たち一人一人が理解を促すための行動をすることでより多くの理解者が増えるということを改めて伺いました。「ひとり」が10人に伝える、その「ひとり」が10人になったら100人に伝える。その「ひとり」になり、当事者やその家族がその地域で暮らしやすい環境になるお手伝いをしていきたいとつくづく思いました。

## これからの・・・職員研修のお知らせ・・・ぜひご参加ください！

「メンタルヘルスとアロマ」 日時：1月16日(土)19～21時  
 場所：烏山区民センター第4会議室  
 「障害者虐待とは(仮称)」 日時：2月18日(木)19～21時  
 場所：烏山区民センター第4会議室

## ■職員のための中核人材養成研修に参加して

ティサービスにじのこ 赤堤 山崎 泰子

今回の研修の目標は「コミュニケーションを高める」が掲げられていました。  
 「ホワレンソウ報告・連絡・相談」については、報告は待つだけでなく「いつまで聞いて聞いとんでも大事であり、相手に対し、「気がかかっている」といふ言葉を発信することも必要なのよかったです。  
 また、今回初めて会う人(自分の仕事を紹介しましたが、時間内的確に相手に伝わるように説明することの難しさを実感しました。時間管理を意識する研修でもあり、時間内に話をし、意見をまとめることの大切さを学びました。

## ■青光フェスタ見学

ティサービスにじのこ 給田 古川 葉留美

「必ずなを一つ」をスローガンに開催された今年のフェスタ。「家族が見守る中、客席に手を振りながらの小一のほほえましい初舞台から、感謝をテーマにした中三の庄巻のパフォーマンスまでが上演された。個性や発達障害が考慮された役柄をいきいきと演じる小一の子どもたちの頑張りの成長、目をみはり胸を熱くする中三、小一のミニ、学校の懸命に頑張っている子ども達、ほほえましい、ほほえましい、ほほえましいの思いを強く感じた。

## ■連合運動会に行ってきました！

事務局 本谷 志穂

夏休みが終わり二期が始まると、私にとって楽しい季節がやってきます。毎年楽しみにしている学校行事が盛りだくさんのこの季節、子どもたちに会う度に「今年はなにやるの?」「練習頑張ってる?」と声をかけてしまいます。今年も10月8日に連合運動会を観に行かせていただきました。子どもたちの背中を押す晴天。声をかけると「頑張るよ!見ててね!」とやる気満々の表情を見せてくれます。ゴールをし参加賞のメダルをもらおうと輝きに満ちた笑顔で「見て!」と自慢しにきてくれます。その笑顔に傾斜は関係なく一所懸命走りきることが大切なのだと改めて教えてもらいます。来年もさらに成長した姿、一所懸命走りきる姿、そして最高の笑顔が見られることを楽しみにしています。